

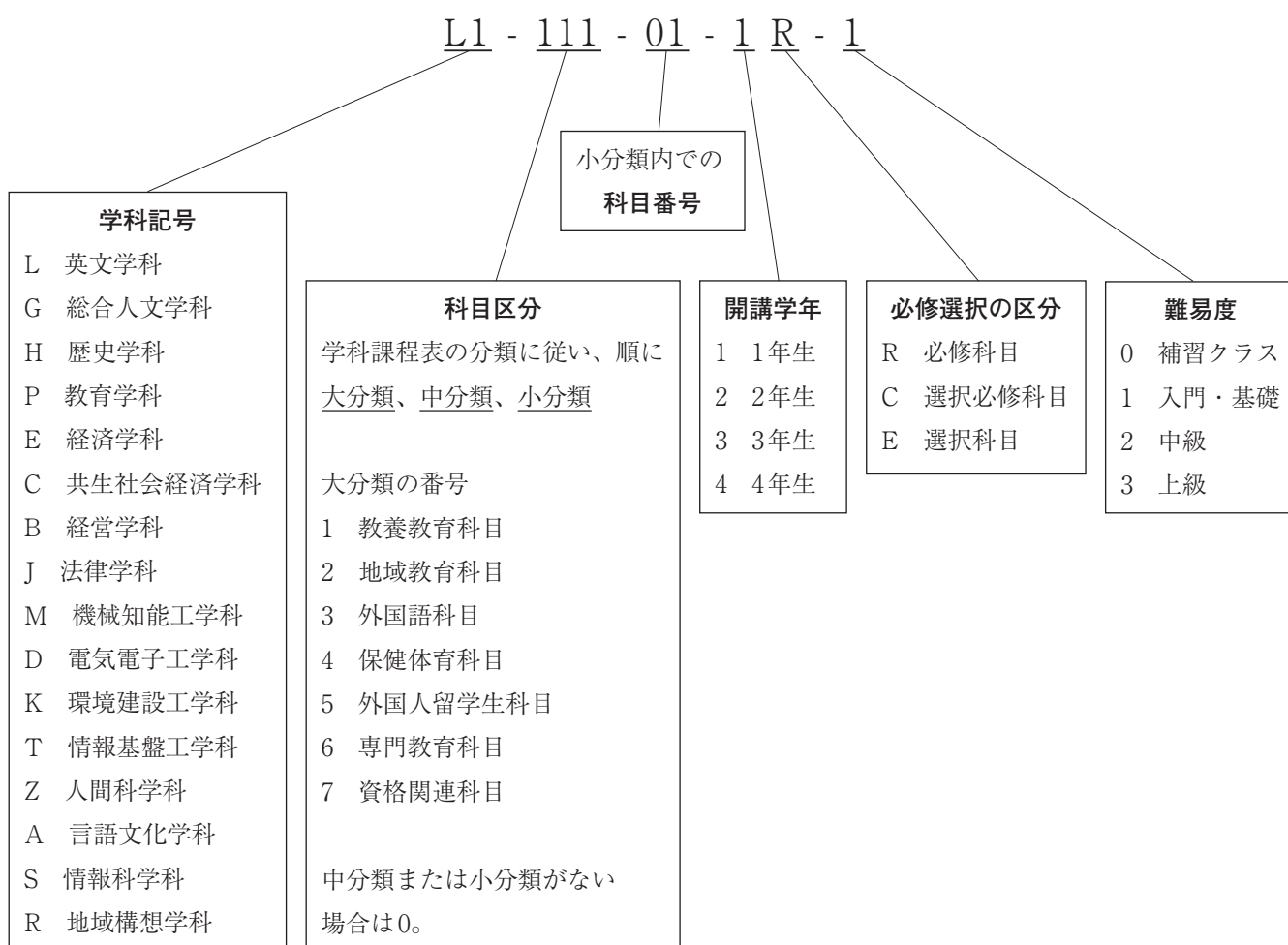
〈カリキュラムマップの見方〉

カリキュラムマップは、学科課程表にある各科目が学位授与の方針（ディプロマポリシー）のどれを達成するために置かれているかを示している表です。表の左から「科目ナンバリング」、「科目名」、「学位授与の方針の各項目」の順に並んでおり、学位授与の方針の項目についている◎は「その科目がその方針の達成を最も重視していること」を表し、○は「その科目がその方針の達成を重視していること」を表しています。

科目を履修する際には、カリキュラムマップを参考にして、その科目が大学における学修全体の中でどのような意味・目標をもっているかを理解しておくことが大切です。

〈科目ナンバリングの見方〉

科目ナンバリングとは、その科目の性格を端的に示す記号で、以下のような情報から成っています。



* 学科記号に続く一桁の数字はカリキュラムの世代を示すもので、学生の皆さんが考慮する必要はありません。

教養学部 地域構想学科 カリキュラムマップ (その1)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的 諸技能・能力及び英語力を活用 できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	産業・社会・福祉・健康・自然・環境等に関する専門的理解を深めることができる。	フィールド調査の結果や統計値、文献、画像等を多角的に用いて、地域の事情や課題を分析し、文章や図表、画像等として表現する力を獲得できる。	知識や技法を習得するだけでなく、グローバルで複眼的な視点とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかわりながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	学修成果を総合的に活用して、地域を構成するさまざまな要素とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかわりながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	
R1-111-01-1R-1	聖書を学ぶ	◎		○							
R1-111-02-1R-1	キリスト教の歴史と思想	◎		○							
R1-111-03-3C-2	キリスト教学A(キリスト教と倫理)	◎		○							
R1-111-04-3C-2	キリスト教学B(キリスト教と宗教)	◎		○							
R1-111-05-3C-2	キリスト教学C(キリスト教と文化)	◎		○							
R1-111-06-3C-2	キリスト教学D(キリスト教と現代社会)	◎		○							
R1-111-07-1E-1	市民社会を生きる			◎							
R1-111-08-2E-1	地球社会を生きる			◎							
R1-111-09-2E-1	科学技術社会を生きる			◎							
R1-111-10-1E-1	キャリア形成と大学生活			◎							
R1-112-01-3E-1	クリティカル・シンキング		◎	○							
R1-112-02-1E-1	数理的思考の基礎		◎								
R1-112-03-1E-1	統計的思考の基礎		◎								
R1-112-04-2E-1	科学的思考の基礎		◎	○							
R1-112-05-1E-1	情報化社会の基礎		◎	○							
R1-112-06-2E-1	メディア・リテラシー		◎	◎							
R1-112-07-1E-1	読解・作文の技法		◎								
R1-112-08-2E-1	研究・発表の技法		◎								
R1-121-01-1E-1	哲学基礎			◎							
R1-121-02-1E-1	芸術論			◎							
R1-121-03-1E-1	音楽			◎							
R1-121-04-1E-1	歴史学			◎							
R1-121-05-1E-1	文学			◎							
R1-121-06-2E-1	倫理学基礎			◎							
R1-122-01-1E-1	心理学			◎							
R1-122-02-1E-1	社会学基礎			◎							
R1-122-03-1E-1	経済学基礎			◎							
R1-122-04-1E-1	法学			◎							
R1-122-05-1E-1	地理学			◎							
R1-122-06-2E-1	日本国憲法			◎							
R1-122-07-2E-1	現代の政治			◎							
R1-122-08-2E-1	社会福祉論			◎							
R1-122-09-2E-1	東北地域学			◎							
R1-123-01-1E-1	環境の科学			◎							
R1-123-02-1E-1	自然の科学			◎							
R1-123-03-1E-1	生命の科学			◎							
R1-123-04-2E-1	健康の科学			◎							
R1-123-05-2E-1	先端の科学と技術			◎							
R1-124-01-3E-1	東北学院の歴史	○		◎							
R1-200-01-1E-1	震災と復興			○			◎				
R1-200-02-2R-1	地域の課題 I						◎				
R1-200-03-2E-1	地域の課題 II						◎				
R1-200-04-3E-2	地域課題演習						◎				
R1-310-01-1R-1	英語 I A		◎	○							
R1-310-02-1R-1	英語 I B		◎	○							
R1-310-03-2R-2	英語 II A		◎	○							
R1-310-04-2R-2	英語 II B		◎	○							
R1-310-05-1E-1	英語コミュニケーション I A		◎	○							
R1-310-06-1E-1	英語コミュニケーション I B		◎	○							
R1-310-07-2E-2	英語コミュニケーション II A		◎	○							
R1-310-08-2E-2	英語コミュニケーション II B		◎	○							
R1-320-01-1C-1	ドイツ語 I (週1)A		◎	○							
R1-320-02-1C-1	ドイツ語 I (週1)B		◎	○							
R1-320-03-1C-1	フランス語 I (週1)A		◎	○							
R1-320-04-1C-1	フランス語 I (週1)B		◎	○							
R1-320-05-1C-1	中国語 I (週1)A		◎	○							
R1-320-06-1C-1	中国語 I (週1)B		◎	○							

教養学部 地域構想学科 カリキュラムマップ (その2)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教義を踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的 語技能・能力及び英語力を活用 できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	産業・社会・福祉・健康・自然・環境等に関する専門的理解を深めることができる。	フィールド調査の結果や統計値、文献、画像等を多角的に用いて、地域の事情や課題を分析し、文章や図表、画像等として表現する力を獲得できる。	知識や技法を習得するだけでなく、グローバルで複眼的な視点に立って地域を構想する姿勢を身につけることができる。	学修成果を総合的に活用して、地域を構成するさまざまな要素とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかわりながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	
R1-320-07-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週1)A		◎	○							
R1-320-08-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週1)B		◎	○							
R1-320-09-1C-1	ドイツ語 I (週2)A		◎	○							
R1-320-10-1C-1	ドイツ語 I (週2)B		◎	○							
R1-320-11-1C-1	フランス語 I (週2)A		◎	○							
R1-320-12-1C-1	フランス語 I (週2)B		◎	○							
R1-320-13-1C-1	中国語 I (週2)A		◎	○							
R1-320-14-1C-1	中国語 I (週2)B		◎	○							
R1-320-15-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週2)A		◎	○							
R1-320-16-1C-1	韓国・朝鮮語 I (週2)B		◎	○							
R1-320-17-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I A		◎	○							
R1-320-18-1E-1	ドイツ語コミュニケーション I B		◎	○							
R1-320-19-1E-1	フランス語コミュニケーション I A		◎	○							
R1-320-20-1E-1	フランス語コミュニケーション I B		◎	○							
R1-320-21-1E-1	中国語コミュニケーション I A		◎	○							
R1-320-22-1E-1	中国語コミュニケーション I B		◎	○							
R1-320-23-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I A		◎	○							
R1-320-24-1E-1	韓国・朝鮮語コミュニケーション I B		◎	○							
R1-320-25-2E-2	ドイツ語 II A		◎	○							
R1-320-26-2E-2	ドイツ語 II B		◎	○							
R1-320-27-2E-2	フランス語 II A		◎	○							
R1-320-28-2E-2	フランス語 II B		◎	○							
R1-320-29-2E-2	中国語 II A		◎	○							
R1-320-30-2E-2	中国語 II B		◎	○							
R1-320-31-2E-2	韓国・朝鮮語 II A		◎	○							
R1-320-32-2E-2	韓国・朝鮮語 II B		◎	○							
R1-330-01-1E-0	ベーシック英語		◎								
R1-330-02-3E-3	英語 III		◎	○							
R1-400-01-1E-1	体育講義			◎							
R1-400-02-1E-1	スポーツ実技			◎							
R1-510-01-1E-1	日本事情A		◎	○							
R1-510-02-1E-1	日本事情B		◎	○							
R1-510-03-1E-1	日本事情C		◎	○							
R1-520-01-1E-1	日本語 I A		◎	○							
R1-520-02-1E-1	日本語 I B		◎	○							
R1-520-03-2E-2	日本語 II A		◎	○							
R1-520-04-2E-2	日本語 II B		◎	○							
R1-610-01-1E-1	基礎コンピュータ		◎		○						
R1-610-02-1E-1	基礎統計学		◎		○						
R1-610-03-1E-2	応用統計学		◎		○						
R1-610-04-1E-2	文化人類学			◎	○						
R1-610-05-2E-1	キャリアデザイン		◎								
R1-610-06-2E-2	思想の歴史			◎	○						
R1-610-07-2E-2	芸術の歴史			◎	○						
R1-610-08-2E-2	宗教と人間			◎	○						
R1-610-09-2E-2	社会調査法		◎		○						
R1-610-10-2E-1	ボランティア活動	○		◎							
R1-610-11-3E-2	現代社会の諸問題			◎	○						
R1-610-12-3E-2	ジェンダー論			○	◎						
R1-610-13-2E-2	海外研究 I		◎	○							
R1-610-14-2E-2	海外研究 II		◎	○							
R1-610-15-3C-3	人間科学演習A				◎	○					
R1-610-16-3C-3	人間科学演習B				◎	○					
R1-610-17-3C-3	言語文化学演習A				◎	○					
R1-610-18-3C-3	言語文化学演習B				◎	○					
R1-610-19-3C-3	情報科学演習A				◎	○					
R1-610-20-3C-3	情報科学演習B				◎	○					

教養学部 地域構想学科 カリキュラムマップ (その3)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教文を踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	産業・社会・福祉・健康・自然・環境等に関する専門的理解を深めることができる。	フィールド調査の結果や統計値、文献、画像等を多角的に用いて、地域の実情や課題を分析し、文章や図表、画像等として表現する力を獲得できる。	知識や技法を習得するだけでなく、グローバルで複眼的な視点に立って地域を構想する姿勢を身につけることができる。	学修成果を総合的に活用して、地域を構成するさまざまな要素とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかわりながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	
R1-610-21-3C-3	地域構想学演習A				◎	○					
R1-610-22-3C-3	地域構想学演習B				◎	○					
R1-610-23-4R-3	総合研究(卒業課題)A				○	◎					
R1-610-24-4R-3	総合研究(卒業課題)B				○	◎					
R1-620-01-1R-1	社会と産業基礎論						◎			○	
R1-620-02-1R-1	健康と福祉基礎論						◎			○	
R1-620-03-1R-1	人と自然基礎論						◎			○	
R1-620-04-1R-1	地域構想学基礎講読							◎			
R1-620-05-1E-1	市民活動論						◎				
R1-620-06-1E-1	地域生活論						◎				
R1-620-07-1E-1	地域と自然						◎				
R1-620-08-2E-2	地域構想論								○	◎	
R1-620-09-2E-2	地域システム論								○	◎	
R1-620-10-2E-2	地域データ分析法							◎			
R1-620-11-3E-3	共同体と市民社会								◎		
R1-620-12-3E-3	地域教育論								◎		
R1-631-01-2E-2	環境社会学						◎			○	
R1-631-02-2E-2	経済地理学						◎			○	
R1-631-03-2E-2	プロジェクトマネジメント								◎	○	
R1-631-04-3E-3	地域社会論								◎	○	
R1-631-05-3E-3	地域文化論								◎	○	
R1-631-06-3E-3	地域政策論								◎	○	
R1-632-01-2E-2	地域福祉論						◎			○	
R1-632-02-2E-2	スポーツ指導論						◎			○	
R1-632-03-2E-2	地域スポーツ論						◎			○	
R1-632-04-3E-3	福祉社会論								◎	○	
R1-632-05-3E-3	福祉サービス論								◎	○	
R1-632-06-3E-3	スポーツマネジメント								◎	○	
R1-633-01-2E-2	気候学						◎			○	
R1-633-02-2E-2	地形学						◎			○	
R1-633-03-2E-2	生態学						◎			○	
R1-633-04-3E-3	地域防災科学								◎	○	
R1-633-05-3E-3	環境マネジメント								◎	○	
R1-640-01-1R-1	地域構想学基礎実習						◎			○	
R1-640-02-2E-2	社会と産業 発展実習A						◎			○	
R1-640-03-2E-2	健康と福祉 発展実習A						◎			○	
R1-640-04-2E-2	人と自然 発展実習A						◎			○	
R1-640-05-2E-2	社会と産業 発展実習B						◎			○	
R1-640-06-2E-2	健康と福祉 発展実習B						◎			○	
R1-640-07-2E-2	人と自然 発展実習B						◎			○	
R1-640-08-3E-3	GIS実習						◎			○	
R1-650-01-1E-1	日本史概説						◎			○	
R1-650-02-1E-1	外国史概説						◎			○	
R1-650-03-1E-1	地理学要説						◎			○	
R1-650-04-1E-1	地誌学要説						◎			○	
R1-650-05-1E-1	民俗学概説 I						◎			○	
R1-650-06-1E-1	民俗学概説 II						◎			○	
R1-650-07-2E-2	生涯学習概論 I						◎			○	
R1-650-08-2E-2	生涯学習概論 II						◎			○	

教養学部 地域構想学科 カリキュラムマップ (その4)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的 諸技能・能力及び英語力を活用 できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	産業・社会・福祉・健康・自然・環境等に関する専門的理解を深めることができる。	フィールド調査の結果や統計値、文献、画像等を多角的に用いて、地域の実情や課題を分析し、文章や図表、画像等として表現する力を獲得できる。	知識や技法を習得するだけでなく、グローバルで複眼的な視点に立って地域を構想する姿勢を身につけることができる。	学修成果を総合的に活用して、地域を構成するさまざまな要素とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかかわりを構築しながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	
R1-711-01-2E-2	歴史の中の東北			◎							
R1-711-02-2E-2	江戸から明治へ			◎							
R1-711-03-2E-2	イスラーム世界の形成と展開			◎							
R1-711-04-1E-1	アジア史概説 I			◎							
R1-711-05-1E-1	アジア史概説 II			◎							
R1-711-06-1E-1	ヨーロッパ史概説 I			◎							
R1-711-07-1E-1	ヨーロッパ史概説 II			◎							
R1-712-01-1R-1	現代教職論			◎							
R1-712-02-1R-1	教育基礎論			◎							
R1-712-03-1R-1	教育の制度と経営			◎							
R1-712-04-2R-2	教育心理学			◎							
R1-712-05-2R-2	教育課程論			◎							
R1-712-06-2R-2	道德教育の理論と方法			◎							
R1-712-07-2R-2	教育の方法と技術			◎							
R1-712-08-2R-2	教育相談の理論と方法			◎							
R1-712-09-2R-2	生徒指導・進路指導の理論と方法			◎							
R1-712-10-2R-3	社会・地理歴史科教育法(概論・理論)			○		◎					
R1-712-11-2R-3	社会・公民科教育法(概論・理論)			○		◎					
R1-712-12-3R-3	社会・地理歴史科教育法(実践)			○		◎					
R1-712-13-3R-3	社会・公民科教育法(実践)			○		◎					
R1-712-14-3R-3	社会・地理歴史科教育法(応用)			○		◎					
R1-712-15-3R-3	社会・公民科教育法(応用)			○		◎					
R1-712-16-3R-3	社会科教育法(発展)			○		◎					
R1-712-17-3R-3	特別支援教育論			○		◎					
R1-712-18-3R-3	特別活動・総合的な学習の時間の理論と方法			○		◎					
R1-712-19-3R-2	介護体験実習			◎							
R1-712-20-4R-3	教育実習 I					○		◎			
R1-712-21-4R-3	教育実習 II					○		◎			
R1-712-22-4R-3	教職実践演習(中・高)			○				◎			
R1-720-01-1E-1	博物館概論			◎							
R1-720-02-1E-2	博物館教育論			◎							
R1-720-03-2E-1	図書館概論			◎							
R1-720-04-3R-2	現代社会と社会教育			◎							
R1-720-05-3E-3	社会教育課題研究			○				◎			
R1-720-06-3E-3	社会教育実習			○				◎			
R1-720-07-3E-3	教育調査実習A			◎							
R1-720-08-3E-3	教育調査実習B			◎							
R1-720-09-3E-2	市民性育成の教育論			◎							
R1-720-10-4R-3	社会教育計画			◎							
R1-720-11-4E-2	図書館制度・経営論			◎							
R1-730-01-1E-1	文化基礎論 I A			◎							
R1-730-02-1E-1	文化基礎論 I B			◎							
R1-730-03-1R-1	言語基礎論 I A			◎							
R1-730-04-1R-1	言語基礎論 I B			◎							
R1-730-05-1R-1	日本語教育学概論			◎							
R1-730-06-1R-2	日本語学		◎			○					
R1-730-07-2E-2	日本文学史A			◎							
R1-730-08-2E-2	日本文学史B			◎							
R1-730-09-2E-2	言語基礎論 II			◎							
R1-730-10-2R-2	日本の言語文化論			◎							
R1-730-11-2R-2	日本文化論特論			◎							
R1-730-12-2R-2	言語習得論			◎							
R1-730-13-2R-2	言語とコミュニケーション		◎								
R1-730-14-2R-2	異文化コミュニケーションA		◎								
R1-730-15-2E-2	異文化コミュニケーションB		◎								

教養学部 地域構想学科 カリキュラムマップ (その5)

科目ナンバリング	科目名	学位授与の方針(ディプロマポリシー)					学科学位授与の方針(ディプロマポリシー)				
		現代をよく生きることについて、キリスト教の教えを踏まえた考察ができる	高度な知的活動に必要な汎用的諸技能・能力及び英語力を活用できる	ものごとを広く多様な視点から認識し、異なる認識・思考方法や価値観に理解を示すことができる	専攻分野の専門的知識とそれを支える認識や思考の方法を説明できる	課題を発見し、その解決のために学修成果を総合的に活用できる	産業・社会・福祉・健康・自然・環境等に関する専門的理解を深めることができる。	フィールド調査の結果や統計値、文献、画像等を多角的に用いて、地域の実情や課題を分析し、文章や図表、画像等として表現する力を獲得できる。	知識や技法を習得するだけでなく、グローバルで複眼的な視点に立って地域を構想する姿勢を身につけることができる。	学修成果を総合的に活用して、地域を構成するさまざまな要素とそれらの要素間の関係性を自発的に探求し、他者とのかわりや構想しながら、課題を一つひとつ解決していくことができる。	
R1-730-16-2R-2	社会言語学			◎							
R1-730-17-2R-2	日本語学特論			◎							
R1-730-18-2R-2	日本語教授法			◎							
R1-730-19-3R-2	日本語文法論			◎							
R1-730-20-3E-2	日本語教育学特論 I			◎							
R1-730-21-3E-2	対照言語学			◎							
R1-730-22-3E-3	Advanced English Communication A		◎								
R1-730-23-3E-3	Advanced English Communication B		◎								
R1-730-24-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢA		◎								
R1-730-25-3E-3	ドイツ語コミュニケーションⅢB		◎								
R1-730-26-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢA		◎								
R1-730-27-3E-3	フランス語コミュニケーションⅢB		◎								
R1-730-28-3E-3	中国語コミュニケーションⅢA		◎								
R1-730-29-3E-3	中国語コミュニケーションⅢB		◎								
R1-730-30-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢA		◎								
R1-730-31-3E-3	韓国・朝鮮語コミュニケーションⅢB		◎								
R1-730-32-4R-3	日本語教育実習法			○		◎					
R1-730-33-4R-2	日本語教育学特論 II			◎							